

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~3日	1月 ~10日	1月 ~17日	1月 ~24日	1月 ~31日	2月 ~7日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	10	27	31	21	25	12
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	2	13	7	11	4 (6)	10
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	0	1	2	2	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	2	1	5	2	4	6
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	0	4	4	2	0	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第5週(2月1日~2月7日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5					3		2
三類	0	発生なし	0							
四類	3	レジオネラ症	3					3		
五類	8	アメーバ赤痢	3					3		
		後天性免疫不全症候群	2					2		
		梅毒	3					3		
指定	72	新型コロナウイルス感染症	72	7	3	0	0	34	4	24

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、湯田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. 新型コロナウイルス感染症

第5週に合計34件の報告がありました。引き続き、健康管理に注意し、外出機会の削減、マスク着用や手洗い、「3密」の回避などの基本的な感染対策を徹底しましょう。また、緊急事態宣言地域への不要不急の往来は控えましょう。

第3次 新型コロナ感染拡大防止集中対策実施中！！

広島市では、感染の再拡大を防止するため、広島県と連携し、2月8日(月)から2月21日(日)までを第3次集中対策期間として、引き続き感染拡大防止対策を実施しています。

詳細については、広島県ホームページ「第3次 新型コロナ感染拡大防止集中対策【令和3年2月8日～2月21日】」(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/stop-infection-hiroshima-3.html>)からご確認ください。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり3.67人の報告があり、前週(3.08人)と比べてやや増加しました。また、2月1日には感染性胃腸炎の集団発生が1件報告されています。

冬季はノロウイルスやロタウイルスによる感染性胃腸炎が多くなります。保育園や幼稚園、学校、福祉施設などの集団生活の場では、感染が拡大しやすいため、特に注意が必要です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒など感染予防・拡大防止対策を徹底しましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
フィリ	インフルエンザ	3	0.08	37.46		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.13		急増減	↑	
	咽頭結膜熱	6	0.25	0.28		眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.38		増減	↔	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.67	2.53	📌	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔	
	感染性胃腸炎	88	3.67	6.25	📌	眼科	流行性角結膜炎	2	0.25	0.40		横ばい	↔	ほとんど増減なし
	水痘	-	-	0.28		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	2	0.08	0.18		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.42		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23				
	突発性発しん	5	0.21	0.19		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	5	0.21	0.02		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.29				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	11	30歳代・推定感染地域: 国外、50歳代、80歳代
4	レジオネラ症	3	4	60歳代、70歳代、80歳代
5	アメーバ赤痢	3	3	50歳代・3人
5	後天性免疫不全症候群	2	2	50歳代・エイズ、60歳代・エイズ
5	梅毒	3	3	20歳代、30歳代、40歳代

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
突発性発しん、インフルエンザ	発熱(40.0°C) 丘疹 リンパ節腫脹	1	2020/10/29	咽頭拭い液	ヒヘルペスウイルス6型 ヒヘルペスウイルス7型
その他の疾患	発熱(38.0°C)	0	2020/09/04	咽頭拭い液	エコーウイルス18型 ライウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載